





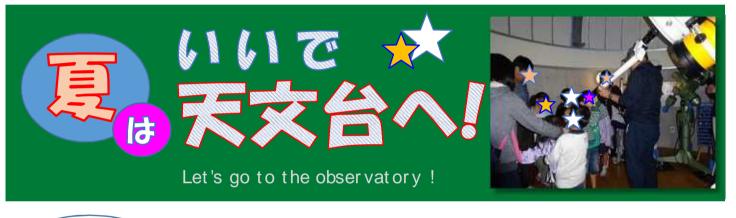
星空の主後は "



夏の星空の主役は惑星。西から東へと金星、木星、 土星、火星と並んでいます。7月の中旬から下旬にかけてはこれら四惑星の近〈を月が形を変えながら通り 過ぎていきます。宵の空では、西のレグルス(しし座) から東のデネブ(白鳥座)まで1等星以上の明るい恒 星も多〈夜空はとても賑やかです。

火星次蒙近= 15年成

火星と地球の接近は、およそ2年2か月ごとに起こります。火星の軌道は地球に比べて楕円であるため、年によって距離が異なります。今年は2003年以来の大接近で、いつもより明る〈大きな火星を見ることができます。観望は7月と8月が好期です。天文台の望遠鏡で観察してみましょう。



-般公開

特別公開

毎週土曜日 / 19:00 ~ 21:00 20:30 受付終了 [8 / 25(土)は休み]

皆既月食と日の出 7月28日(土) / 3:00~ 5:00 4:00 受付終了

火星最接近 7月31日(火) / 19:00~21:00

スターウィーク = 星空に親しむ週間 =

8月 1日(水)~7日(火)/19:00~21:00 20:30 受付終了

予約公開

予約による公開 【団体・グループ・家族・個人での利用歓迎】

事前予約により公開/日中・夜間利用可/日時・内容は相談上決定

利用料など

利用料金【中学生以上200円/小学生150円/未就学児童/無料】 全天曇り/雨/強風などのときは→公開中止

イベント

惑星を全部見よう! キャンペーン実施中

夏から秋にかけて、太陽系内8つの惑星を観察しよう![11月末まで] 認定証を発行

天体写真展 7/29~8/7 町民総合センター あ~す (予定)